

都市の現況分析への 都市構造可視化計画の活用

～立地適正化計画策定に向けた基礎分析～

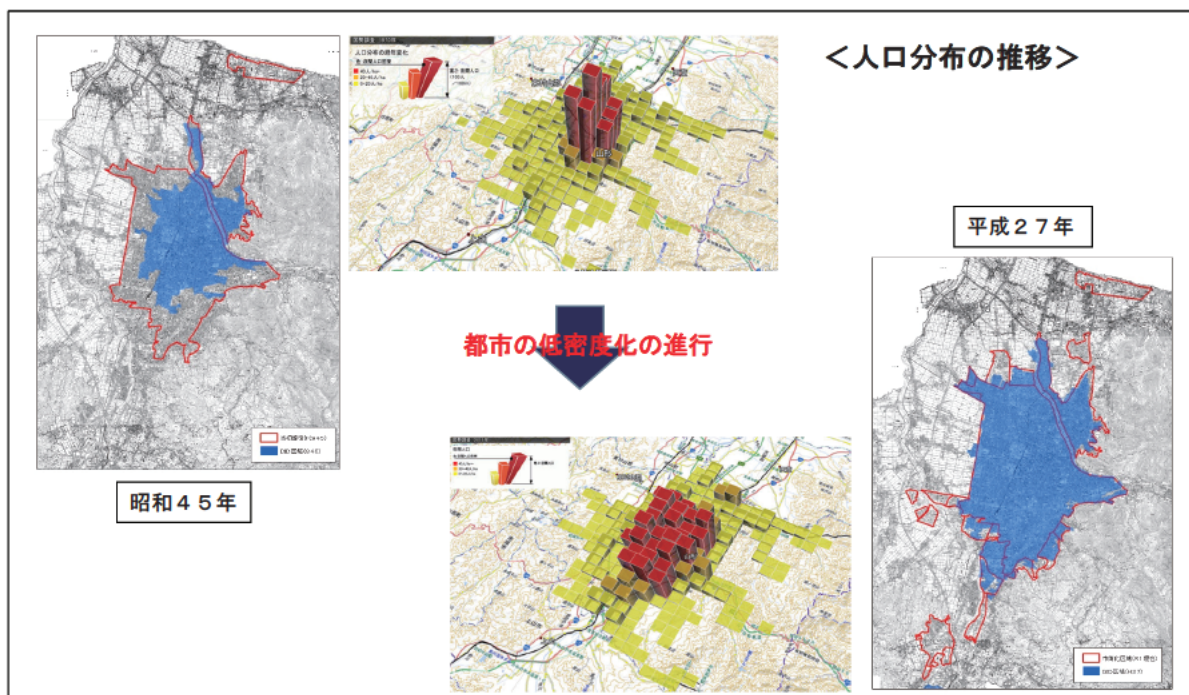
山形市まちづくり政策課

i-都市交流会議2020

1

1. 山形市の現状把握①

市街化区域の変遷と人口分布の推移



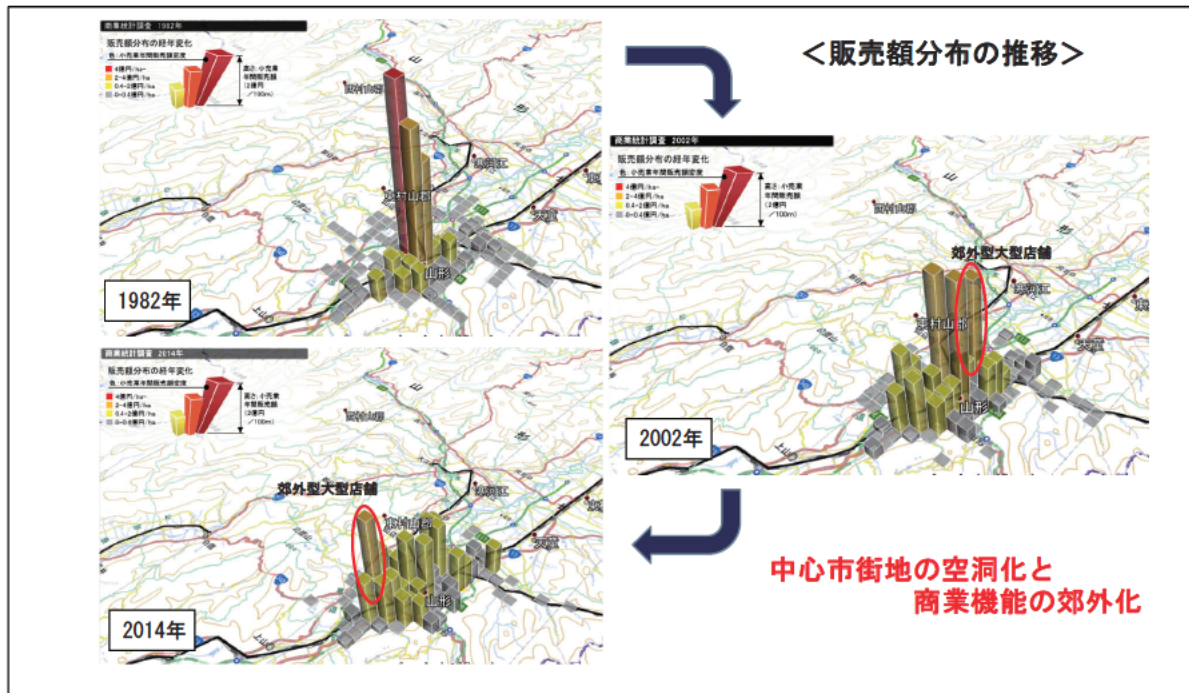
i-都市交流会議2020

補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用

2

2.山形市の現状把握② – 1

販売額分布の推移から見る機能移転



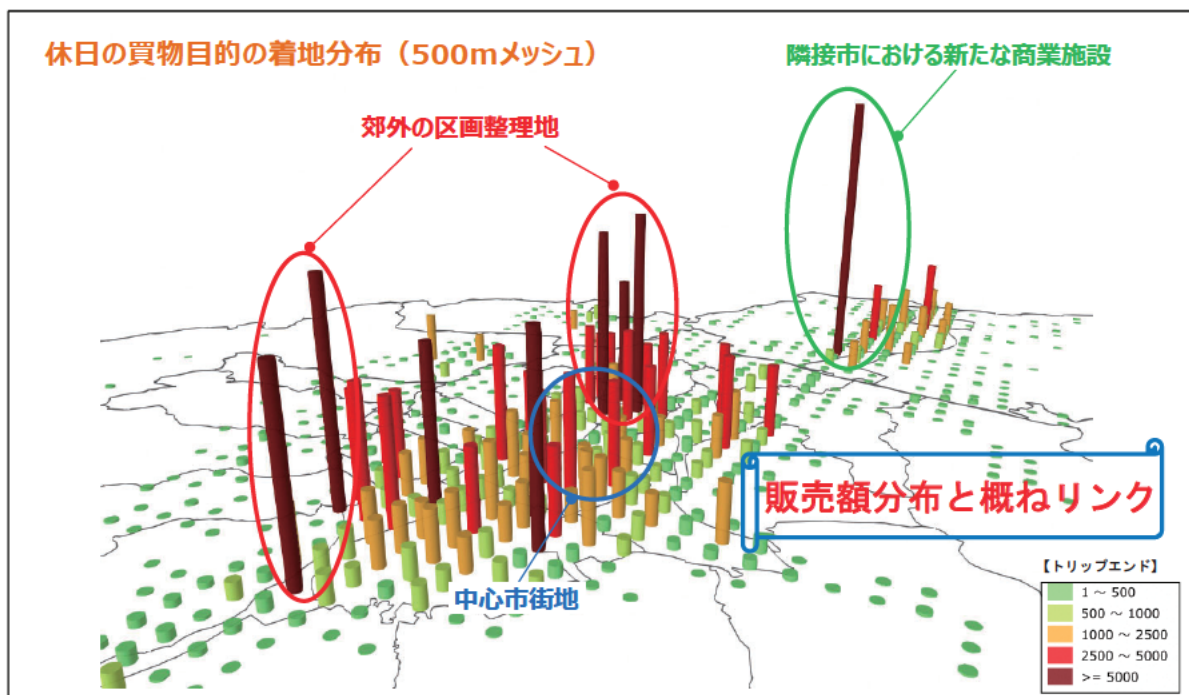
i-都市交流会議2020

補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用

3

2.山形市の現状把握② – 2

休日の買い物目的の行き先（山形広域P T調査）



i-都市交流会議2020

4

4.まとめ

抽出された課題とまちづくりの方向性

課題

- (1) 人口減少の進展による都市の低密度化の進行
- (2) 郊外への新たな拠点の形成と中心市街地の空洞化
- (3) 公共交通利用者の減少に伴う利便性の低下
- (4) 過度な自家用車依存と居住地の多様化



まちづくりの方向性

今後到来が見込まれる超高齢社会に対応するためには
自家用車依存の低減が必要不可欠

公共交通利便区域への居住誘導

+

現在の生活(移動)実態に即した公共交通網への再編

コンパクト
+
ネットワーク

可視化できないか？（PT調査、OD調査など）

山形県山形市

都市の紹介



日本遺産「山寺が支えた紅花文化」



山形市お宝広報大使

はながた **ハニ** ちゃん